

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	港湾空港課長 奥村 恭	電話番号	0852-22-5228
----------	-------------	------	--------------

事務事業の名称	港湾維持管理事業		
目的	(1) 対象	港湾・海岸の施設利用者	
	(2) 意図	港湾機能の安全性、利便性に配慮し、適切な港湾管理を行う	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 港湾施設の利用者に、適切に利用してもらうため、港湾施設の安全を確保する。 港湾施設の利用者に、港湾施設を利用してもらうため、許認可事務を適切に行う。 港湾施設の機能を良好な状態に保つため、保守点検や維持修繕を行う。 国際埠頭に対して、国際船舶・港湾保安法に基づく保安警備を適切に行う。 		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	県管理港湾の年間取扱貨物量（単位：万トン）	目標値	660.0	660.0	660.0	660.0	万トン
	式・定義	年間取扱貨物量実績	実績値	644.1				
			達成率	-	-	-	-	
2	指標名	港湾施設の維持管理計画策定率	目標値	97.3	98.2	99.1	100.0	%
	式・定義	施設の維持管理計画策定数/維持管理計画策定対象の全施設数	実績値	96.3				
			達成率	-	-	-	-	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	646,715	789,863
うち一般財源 (千円)	111,670	194,246

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 港湾施設の老朽化が進んでおり、限られた予算の中、計画的な修繕・更新が必要となっている。 県管理18港湾全てにおいて維持管理計画策定に取り組んでおり、港湾施設の計画策定は完了に近づいている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 港湾施設の許認可、維持管理を適切に行った。 港湾施設の機能を良好な状況に保つため、保守点検や維持修繕を行った。
--

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後、港湾施設の維持修繕、更新経費の増加が見込まれる。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 耐用期間を迎える港湾施設の増加。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な港湾施設の維持修繕、更新を行い、施設の長寿命化を図ると共に、費用を平準化していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 今後、残されている防波堤、係留施設、臨港交通施設（橋梁、トンネル）の維持管理計画の策定を進め、残された施設の計画策定をH31年度までに終える。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）

--